

議員提出議案第 8 号

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書提出について

上記の議案を提出する。

令和 7 年 3 月 2 1 日

提出者	調布市議会議員	岸	本	直	子
賛成者	調布市議会議員	田	村	ゆう	子
	同	鈴	木	ほの	香

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書

近年，女性の社会進出が進むにつれて，家族の在り方が多様化していることを背景に，経済界も含め国民世論も，既に7割以上が選択的夫婦別姓制度の導入に賛成している。

今世界で夫婦同姓を法律で義務づけている国は日本だけである。結婚時に改姓するのは現在も女性が95%であり，姓の変更を強制していることは，仕事や社会生活を送る上での様々な不便・不利益をもたらしている。このような現状に対し，国連女性差別撤廃委員会も，夫婦同姓を義務づける民法の規定を見直し，選択的夫婦別姓を導入するよう，日本政府に対して4度目となる勧告を出したところである。

よって国におかれては，国内の実情及び国際社会の動向を踏まえ，個人の選択に寛容な社会を確立しジェンダー平等を実現するための，選択的夫婦別姓制度を導入するよう強く要望する。

以上，地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 3 月 日

調布市議会議長 井 上 耕 志

提出先

内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣 衆議院議長 参議院議長